

新潟は温泉大国（その1）

新潟は全国でもトップクラスの温泉数を誇ります。
泉質多彩な源泉で、四季を彩る里山慕情に美味しいお米と地酒など、郷土色豊かな観光で、きっと思い出に残る旅を演出してくれることでしょう。
ここでは、（社）新潟県観光協会2005年度発行版のガイドブックを参考に、雑学知識で紹介する温泉探索コーナーです。

泉質の種類

< 塩化物泉 >

ナトリウム・塩化物・硫酸塩泉
ナトリウム・塩化物泉
ナトリウム・硫酸塩・塩化物泉
ナトリウム・カルシウム・塩化物泉
ナトリウム・カルシウム・硫酸塩泉
ナトリウム・カルシウム・塩化物泉
ナトリウム・カルシウム・マグネシウム・硫酸塩・炭酸水素塩泉
ナトリウム・カルシウム・硫酸塩・塩化物泉
ナトリウム・炭酸水素塩・塩化物泉
ナトリウム・炭酸水素塩・硫酸塩泉
ナトリウム・炭酸水素塩・硫酸塩・塩化物泉
含硫黄・ナトリウム・カルシウム・炭酸水素塩・硫酸塩・塩化物泉
含硫黄・ナトリウム・塩化物・硫酸塩泉

< 単純泉 >

単純泉
アルカリ性単純泉
弱アルカリ性単純泉

< 硫黄泉 >

単純硫黄泉

< 弱塩泉 >

弱食塩泉

< 放射能泉 >

< 含鉄泉 >

< 硫黄塩泉 >

< 炭酸水素塩泉 >

< 冷鉱泉 >

< 含炭酸・石膏・重炭酸土類泉 >

主な泉質の特徴

< 塩化物泉 >

塩辛く無色透明
皮膚に付着した塩分により汗の蒸発を防ぐため、保湿効果があり、冷めにくい

< 単純泉 >

刺激が少なく体に優しいため、子供や高齢者にも最適
アルカリ性単純泉の場合、肌の角質をとり美肌効果がある

< 硫黄泉 >

硫黄泉と硫化水素泉の2種類がある
末梢毛細血管を拡張させるため、動脈硬化やしもやけに効果がある
皮膚の角質を軟化し、皮膚病に効果がある

< 放射能泉 >

温泉中に含有されるラドンは、空気中に飛散するため体への悪影響はない
高尿酸血症、痛風、糖尿病に効果がある
腎機能が改善されるので、神経痛やリウマチにも良いとされ、尿酸を尿で排出するため、「痛風の湯」ともいわれる

< 含鉄泉 >

鉄分を含み、空気に触れると酸化し、不透明な黄色（褐色）になる
浴用では、よく温まるため、更年期障害や慢性湿疹などに効果がある
飲用では、胃酸の分泌を高め、鉄を吸収しやすくするため、貧血に良いとされる

< 硫酸塩泉 >

含有成分によって3種類（石膏泉／芒硝泉／正苦味泉）に分けられる
石膏泉・・・カルシウムの鎮静効果が高く、「傷の湯」「中風の湯」といわれる
芒硝泉・・・ナトリウムを含んでいるため、血圧を下げ、痛みを和らげる高血圧症、動脈硬化、外傷に効果がある
正苦味泉・・・マグネシウムを多く含み、硫酸塩泉と同じ効果がある

< 炭酸水素塩泉 >

皮膚の脂肪や分泌物を乳化して洗い流すため、石鹸のように皮膚を洗浄
皮膚を滑らかするため、「美人の湯」ともいわれる
火傷や慢性皮膚病、じんましん等にも効果がある

< 二酸化炭素泉 >

二酸化炭素を含み、泉温が高くなると炭酸が気化するため、泉温は低め
入浴すると体に気泡が付着するため、「泡の湯」ともいわれる
炭酸ガスが皮膚から吸収され、血液の循環を良くするので、泉温は低いけど温まる
脈拍が増加することなく血液循環が良くなるため、「心臓の湯」ともいわれ、高血圧や心臓病にも効果がある